

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 011	提案機関名 (一社) 神奈川県園芸協会
要望問題名 ナシ“豊水”のミツ症対策試験について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 ナシ“豊水”において近年、ミツ症が多く発生して販売に悪影響が生じている。ミツ症対策として、カルシウム剤の施用が有効と言われているが、効果が半然としない。 そのため、ミツ症対策としてカルシウム剤の葉面散布と土壌施用による効果の相違、このほか、土壌成分によるミツ症発生の関連等、防ぐことができないか試験をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) (平成16年度試験課題) 3 新栽培技術による低コスト・省力栽培技術の開発 (4) 果樹直売向き品種の安定生産技術の確立 イ ニホンナシ「豊水」におけるカルシウム剤葉面散布によるみつ症軽減効果の検討		
対応の内容等	カルシウム剤の散布については、先行研究で炭酸カルシウム3%水溶剤の葉面散布を満開2週間後から2週間おきに8回散布すると、果実からの蒸散抑制によってみつ症の抑制効果が認められた(猪俣ら 1999)等の報告はありますが、効果は安定しない旨の報告(梅谷ら 1993)もあり、実用技術とはなっていないのが現状です。当所でも平成16年度にカルシウム剤散布によるみつ症低減効果試験(川嶋ら 2004)を行いました。効果は判然とせず、対策技術の確立には至りませんでした。 豊水のみつ症は、2019年と2020年に発生が続き、貴会から代替品種探索の要望を踏まえ、農研機構の育成系統や昨今の新品種を含め、代替品種としての特性を有するかどうかについて、今後検討していきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	参考文献 猪俣ら 園学雑 68(別2) 336-342, 1999. 梅谷ら 茨城園研報 1. 11-22, 1993. 川嶋ら H16 神農総研 試験研究成績書 63-64, 2004		